

兵庫県下の経済動向

平成22年8月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

【概 況】

最近の県内景気は、厳しさを残しつつも、着実に持ち直している。

輸出はアジア向けを中心に増加し、生産も増加している。設備投資は、製造業の増加から下げ止まっている。個人消費は、耐久消費財には動きがみられるが、その他の分野では総じて弱い動きとなっている。また、住宅投資は持ち直しの動きがみられている一方、公共投資は増勢が一服している。この間、雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善の動きがみられている。

需要面の動きをみると、個人消費は百貨店売上が、衣料品や食料品などが減少したことから、2か月ぶりに前年を下回った。乗用車販売は、小型車・普通車・軽自動車とも増加したことから、12か月連続で前年を上回った。家電販売は、エコポイント制度の効果が継続しており、薄型テレビを中心に販売は堅調となっている。

設備投資は、非製造業が引続き減少計画となっているものの、製造業が増加計画となっていることから、増加に転じる計画となっている。

住宅投資は、分譲、持家は増加したものの、貸家が減少したことから、全体では2か月ぶりに前年を下回った。

公共工事は、兵庫県や神戸市などが減少したことから、2か月ぶりに前年を下回った。

貿易は、輸出がアジア、米国向けが増加し、6か月連続で前年を上回った。また、輸入についても5か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、一般機械工業、食料品工業、電気機械工業などの増加により3か月連続で上昇した。

雇用関係では、有効求人倍率が前年を上回ったほか、新規求人数も前年を上回った。また、所定外労働時間と一人当たり名目賃金は前年を上回ったものの、常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、このところ増勢が幾分鈍化しており、また、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を上回ったものの、負債総額は前年を下回った。

兵庫D I及び兵庫C Iから見た県内の景気動向。

5月の兵庫D Iは、先行指数 42.9%、一致指数 100.0%、遅行指数 37.5%となった。

5月の兵庫C Iは、先行指数 95.0、一致指数 92.3、遅行指数 93.8となった。

兵庫D Iは、先行指数が13か月ぶりに、遅行指数は2か月連続で50%を下回ったが、一致指数が100.0%で、好不況の判断の分かれ目となる50%を12か月連続で上回った。

一方、兵庫C Iは、一致指数が12か月連続で、遅行指数は3か月ぶりに前月差増となった。

県統計課はリーマン・ショック前の水準には戻っていないが、県内景気は改善しているとしている。

*兵庫D Iと兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫D I)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫C I)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

6月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は98.3、前月比1.5%上昇。出荷指数は95.9、同1.2%低下。在庫指数は101.3、同3.4%上昇。在庫率は、115.4、同1.0%上昇。生産指数は3か月連続で上昇、出荷指数は3か月ぶりに低下した。また在庫指数は3か月ぶりに上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が18.9%増で7か月連続で上昇し、出荷も13.5%増で7か月連続で上昇した。また在庫は0.5%減で16か月連続で低下した。

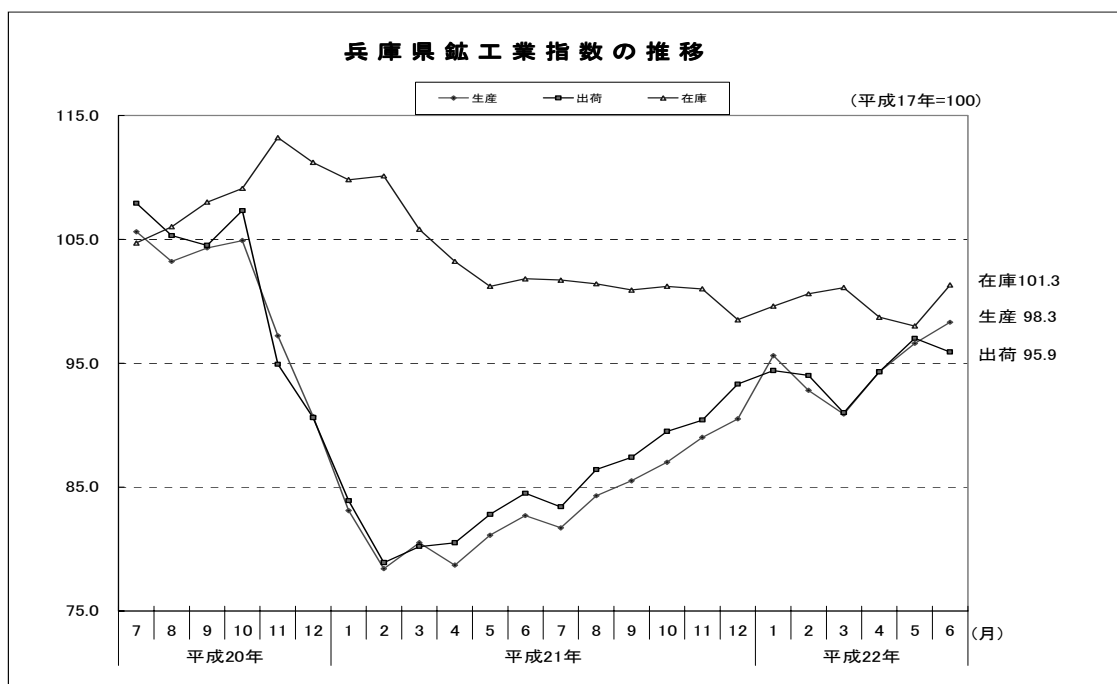
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、蒸気タービン部品等の「一般機械」で11.0%、めん類、パン類等の「食料品」で8.3%、電力変換装置等の「電気機械」で6.4%各々上昇した。

6月の生産指数は、一般機械工業、食料品工業、電気機械工業などの増加により3か月連続で上昇した。県統計課は、「世界同時不況前の水準にはまだ届いていないが、県内の生産活動は着実に回復してきた」としている。

6月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分			原 指 数	
	季節調整済指数	対前月比増減(%)		対前年同月比増減(%)
生 産	98.3	1.5	102.0	18.9
出 荷	95.9	1.2	98.9	13.5
在 庫	101.3	3.4	101.3	0.5
在 庫 率	115.4	1.0	116.0	24.6

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



6月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
			上昇	低下
鉄 鋼	101.8	1.5	上昇	普通鋼鋼帯、亜鉛めっき鋼板、普通鋼冷延広幅帯鋼、普通鋼鋼管
			低下	鋳鉄管、H形鋼、普通鋼線材、特殊鋼熱間鋼管
金属製品	82.6	4.1	上昇	超硬チップ、鋼管製管継手、石油温水給湯暖房機、ガス湯沸器
			低下	橋りょう、ガス風呂がま、ガス温風暖房機、スチール・ステンレスドア
一般機械	104.3	11.0	上昇	C(W)BN工具、ショベル系掘削機械、プレイバックロボット、ボイラ部品
			低下	蒸気タービン部品、一般用蒸気タービン、反応用機器、集じん機器
電気機械	121.4	6.4	上昇	電力変換装置、リチウムイオン蓄電池、非標準油入り変圧器、内燃機関電装品
			低下	クッキングヒーター、一般用タービン発電機、電気がま、高圧遮断器
情報通信機械	93.5	11.7	上昇	無線位置測定装置、搬送装置、カーオーディオ、陸上移動通信装置(携帯電話以外)
			低下	プリンタ
電子部品デバイス	161.0	9.0	上昇	PDPモジュール、IGBT、シリコントランジスタ、線形半導体集積回路
			低下	シリコンダイオード、シリコンウエハ、混成集積回路、スイッチング電源
輸送機械	74.3	12.3	上昇	船用ディーゼル機関、鋼船、二輪自動車、駆動伝導・操縦装置部品
			低下	特装ボデー
化 学	98.6	0.2	上昇	医薬品、アクリル酸エステル、石油化学品製造用触媒、エポキシ樹脂
			低下	純ベンゼン、化粧品、塩化ビニル樹脂、二塩化エチレン
食 料 品	100.7	8.3	上昇	めん類、冷凍調理食品、即席めん、小麦粉
			低下	パン類、しょうゆ、ビール類、清酒

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた7月の県内百貨店売上高は219億12百万円、前年同月比3.6%の増加で2か月ぶりにプラスに転じた。猛暑のため日傘や紫外線防止グッズなどが好調だった。また、夏のバーゲンが昨年は6月に始まっていたが、今年は7月スタートだった効果もあった。

神戸地区は、5店中4店で前年水準を上回った。大丸神戸店は、紳士服や子供服が前年同月を上回ったほか食料品も30%増えた。婦人用の紫外線防止の手袋などの売れ行きがよかった。そごう神戸店は、中旬以降の猛暑で日傘などを含む身の回り品が増加、家庭用品も約30%増えた。

姫路地区は、ヤマトヤシキ・山陽百貨店ともにバッグやアクセサリーなどの身の回り品が伸び、いずれも前年を上回った。また、山陽は屋上ビアガーデンが猛暑により盛況で、食堂喫茶の売上は約30%伸びた。

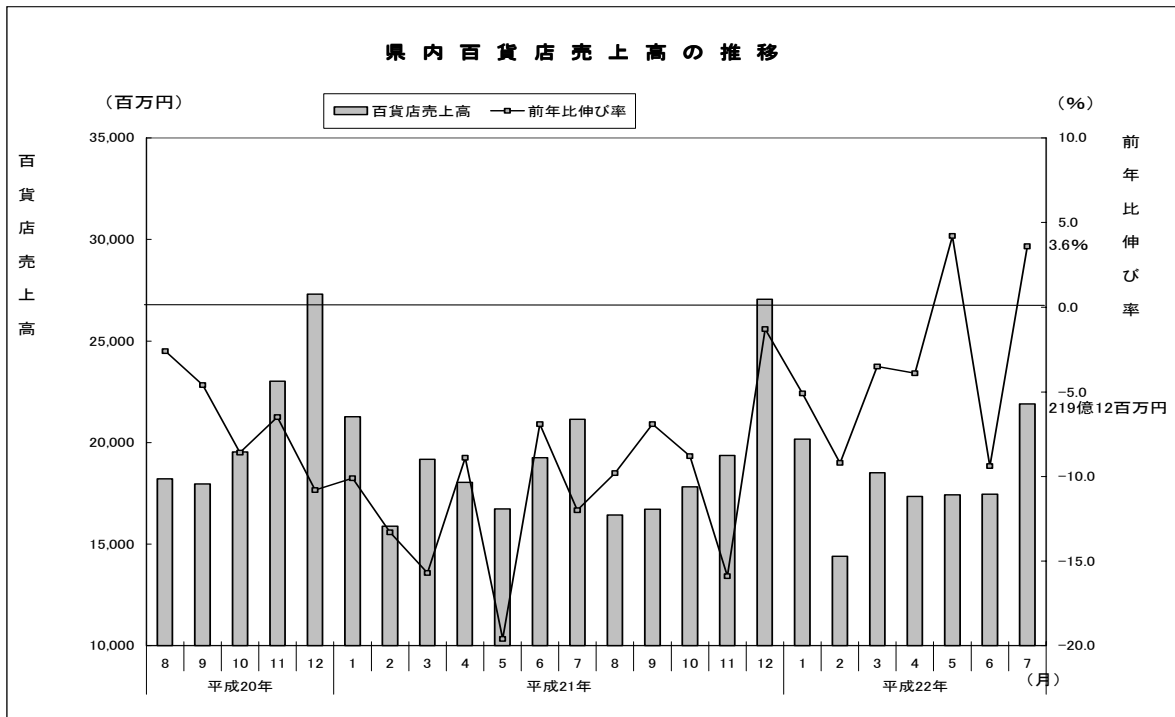
7月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	873(2.0)	206(6.5)	1,080(0.3)
婦人服・洋品	4,924(3.4)	794(5.2)	5,719(3.7)
子供服・洋品	594(2.9)	98(8.0)	693(3.6)
身の回り品	1,875(3.3)	322(2.8)	2,197(2.4)
家庭用品	790(13.3)	129(24.8)	919(5.8)
食料品	6,019(20.3)	1,280(3.9)	7,300(15.2)
雑貨	2,373(6.4)	437(5.0)	2,810(6.2)
その他	866(8.6)	324(11.5)	1,190(9.4)
計	18,319(5.4)	3,593(4.5)	21,912(3.6)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内7月の乗用車新車登録台数は16,129台、前年同月比10.9%増と12か月連続で前年同月の実績を上回った。ハイブリッド車など環境車の販売が好調。

7月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は6,044台(前年同月比19.9%増)、小型乗用車は6,024台(同4.9%増)、軽乗用車は4,061台(同8.1%増)、乗用車合計で16,129台(同10.9%増)となった。

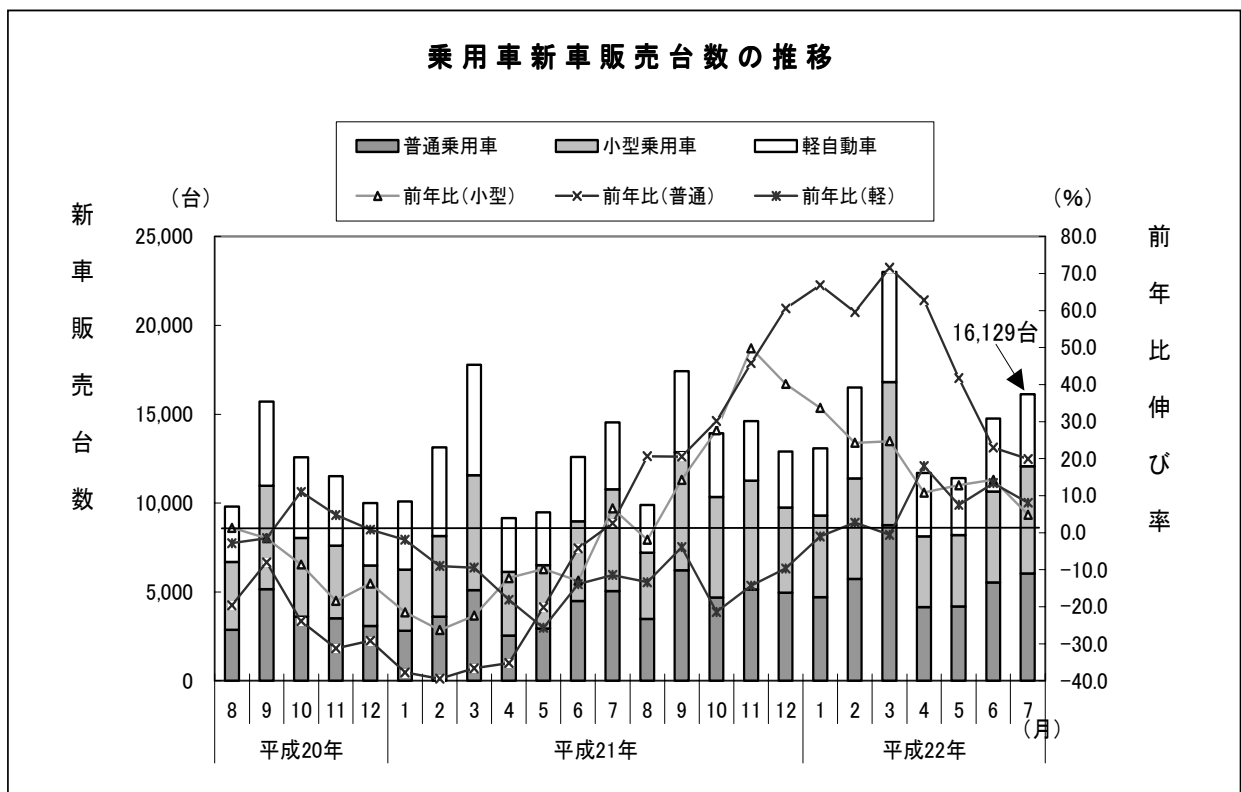
また貨物車等では、普通貨物車は238台(前年同月比32.2%増)、小型貨物車は576台(同9.9%増)、軽貨物車は1,501台(同26.5%増)、バスは58台(同52.6%増)となった。

7月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	6,044	19.9	142,659	20.3
小型乗用車	6,024	4.9	164,738	11.6
軽乗用車	4,061	8.1	113,197	6.5
乗用車合計	16,129	10.9	420,594	12.9
普通貨物車	238	32.2	8,423	24.6
小型貨物車	576	9.9	16,497	2.5
軽貨物車	1,501	26.5	40,006	15.0
貨物車合計	2,315	22.4	64,926	12.65
バス	58	52.6	1,086	20.9
登録車総計	18,502	12.4	486,606	12.9

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が8月11日に発表した機械受注統計によると、平成22年6月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、22年5月前月比10.8%減の後、6月は同9.2%増の1兆9,027億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、5月前月比9.1%減の後、6月は同1.6%増の7,040億円となった。

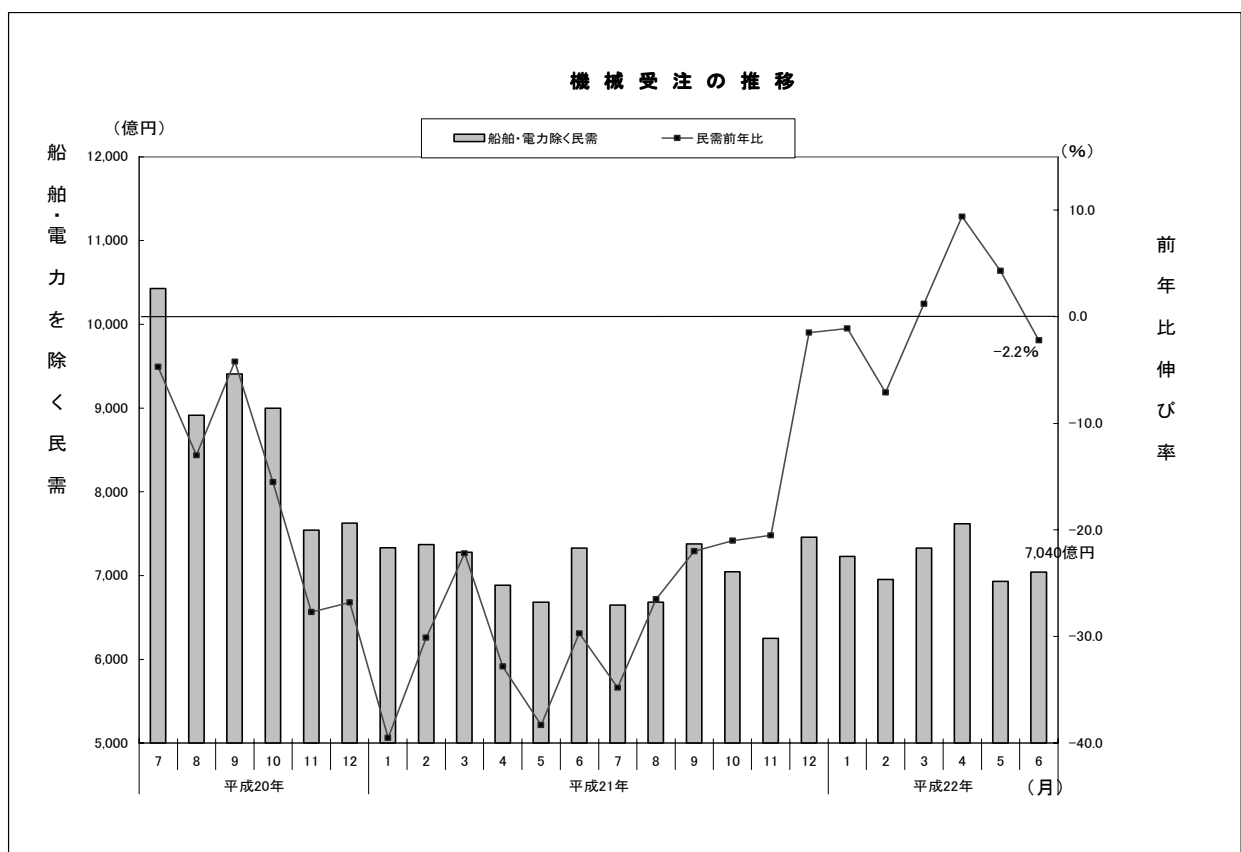
内訳をみると、製造業が同9.9%増の2,816億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同3.9%減の4,192億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、石油製品・石炭製品(209.5%増)、食品製造業(75.1%増)、化学工業(70.8%増)、鉄鋼業(43.8%増)、造船業(37.1%増)等の11業種で、自動車・同付属製品は横ばい、その他の輸送用機械(18.2%減)、非鉄金属(11.9%減)、パルプ・紙・紙加工品(8.4%減)等の5業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、リース業(95.2%増)、不動産業(83.9%増)、電力業(43.4%増)、鉱業(37.5%増)等の6業種で、情報サービス業(18.7%減)、卸売・小売業(11.4%減)、金融・保険業(8.6%減)等の6業種は減少となった。

兵庫県下においては、2010年度設備投資計画は、非製造業が引続き減少計画となっているものの、製造業が増加計画となっていることから、増加に転じる計画となっている。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果。2010年6月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+6.5%(製造業+9.5%、非製造業-2.0%)



機械受注統計（平成22年6月分）

（単位：億円、％）

	21年 7~9月 実績	10~12月 実績	22年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 見通し	22年 3月 実績	4月 実績	5月 実績	6月 実績
受注総額	49,456 (9.0) [-30.2]	53,425 (8.0) [-5.8]	58,247 (9.0) [17.4]	55,988 (-3.9) [23.7]	63,844 (14.0) [27.5]	19,978 (3.6) [13.1]	19,534 (-2.2) [29.4]	17,428 (-10.8) [17.2]	19,027 (9.2) [24.2]
民 需	24,937 (-2.4) [-23.2]	25,095 (0.6) [-10.1]	25,854 (3.0) [0.2]	24,955 (-3.5) [-2.0]	26,767 (7.3) [8.0]	8,855 (2.8) [2.5]	8,907 (0.6) [8.3]	7,625 (-14.4) [-16.0]	8,423 (10.5) [2.6]
” (Ex 船・電)	20,671 (-0.7) [-27.3]	20,904 (1.1) [-14.0]	21,514 (2.9) [-1.8]	21,589 (0.3) [3.3]	21,759 (0.8) [6.2]	7,329 (5.4) [1.2]	7,619 (4.0) [9.4]	6,929 (-9.1) [4.3]	7,040 (1.6) [-2.2]
製 造 業	6,844 (-6.6) [-46.1]	7,994 (16.8) [-17.3]	9,129 (14.2) [29.2]	8,342 (-8.6) [13.2]	8,475 (1.6) [24.8]	3,134 (2.7) [22.1]	2,963 (-5.5) [27.0]	2,562 (-13.5) [9.3]	2,816 (9.9) [6.9]
非製造業 (Ex 船・電)	14,063 (4.5) [-11.8]	12,956 (-7.9) [-10.8]	12,471 (-3.7) [-15.0]	13,192 (5.8) [-2.4]	13,113 (-0.6) [-4.1]	4,405 (11.1) [-8.0]	4,640 (5.3) [0.8]	4,360 (-6.0) [1.5]	4,192 (-3.9) [-7.7]
官 公 需	8,048 (9.5) [20.5]	6,683 (-17.0) [-0.8]	6,861 (2.7) [-1.9]	6,845 (-0.2) [-4.8]	7,593 (10.9) [-1.6]	2,163 (0.7) [-6.0]	2,576 (19.1) [1.3]	1,886 (-26.8) [-19.4]	2,383 (26.3) [-1.6]
外 需	15,502 (33.5) [-46.8]	19,635 (26.7) [-0.9]	22,275 (13.4) [72.2]	22,806 (2.4) [94.2]	27,871 (22.2) [73.1]	7,688 (3.9) [52.4]	7,405 (-3.7) [92.5]	7,608 (2.7) [129.5]	7,792 (2.4) [74.7]
代 理 店	2,004 (10.3) [-32.4]	2,183 (9.0) [-13.0]	2,356 (7.9) [12.6]	2,408 (2.2) [32.4]	2,409 (0.0) [20.2]	791 (-0.3) [18.2]	885 (11.9) [37.8]	727 (-17.9) [31.3]	796 (9.5) [28.7]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内6月の新設住宅着工戸数は、総数で2,426戸(前年同月比6.0%減)となり、分譲住宅、持家が増加したものの、貸家が減少し、全体では2か月ぶりに前年を下回った。尚、前月比では85戸の減少となった。

6月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	984	3.9	27,656	4.4
・分譲住宅	561	11.5	15,705	24.6
貸家系・貸家	877	19.2	24,871	10.9
・給与住宅	4	91.5	456	63.5
総数	2,426	6.0	68,688	0.6

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

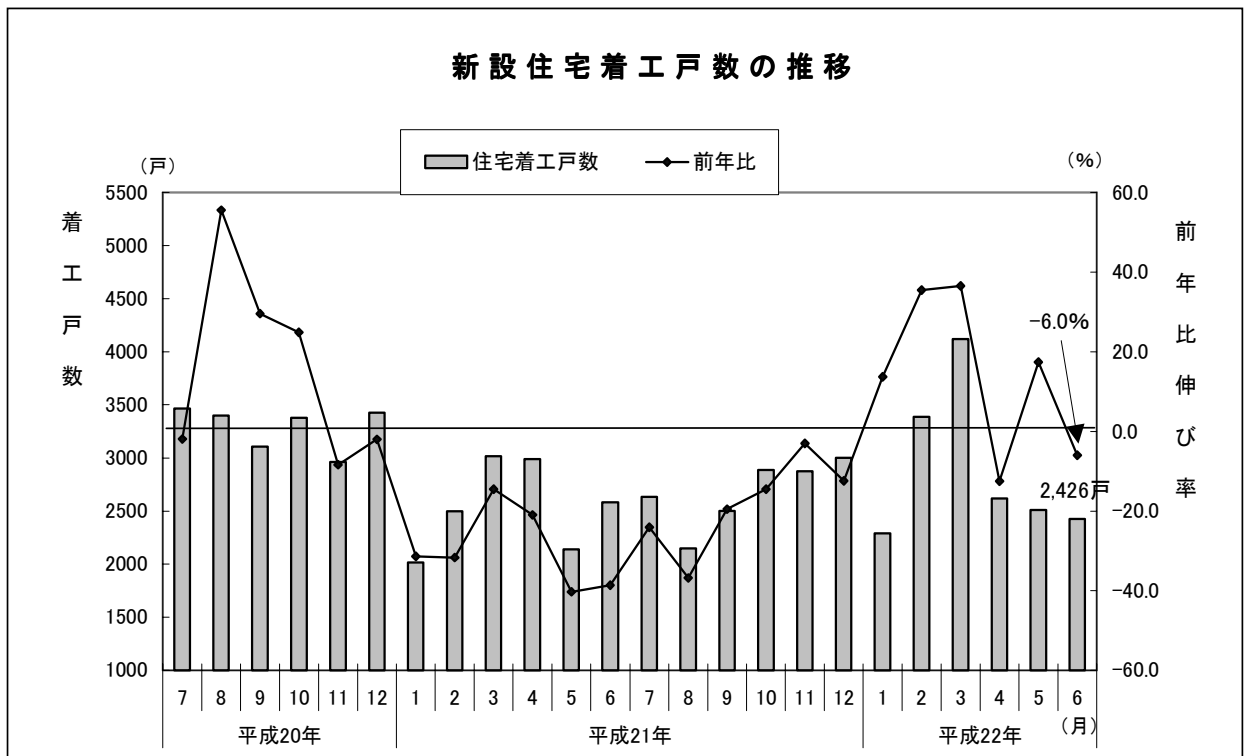
6月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	581	415	303	365	156	316	111	68	42	69	2,426
前月比	-158	-11	+9	+1	+49	+22	-71	+20	+17	+37	-85

資料：兵庫県住宅計画課

平成22年4月～6月の新設住宅着工累計は、総数で7,555戸、前年同期比157戸の減少となった。利用関係別では「持家」が2,708戸(前年同期比7.0%増)、「分譲住宅」が1,903戸(同7.3%減)、「貸家」が2,715戸(同0.7%増)、「給与住宅」が229戸(同41.9%減)となった。



【公共工事】

7月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は484件で前年同月比3.8%の減少、請負金額は350億45百万円で同27.1%の増加となり、金額ベースでは前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市」が前年同月比15.9%減となったものの、「国」同7.1%増、「その他の団体」同148.3%増、「神戸市を除く市町」同3.4%増、「独立行政法人等」同318.3%増、「兵庫県」同55.7%増となり前年同月を上回った。

地域別(金額ベース)では、神戸市(同60.2%増)、阪神北(同172.6%増)、西播磨(同47.5%増)、北播磨(同46.0%増)等で増加となった。

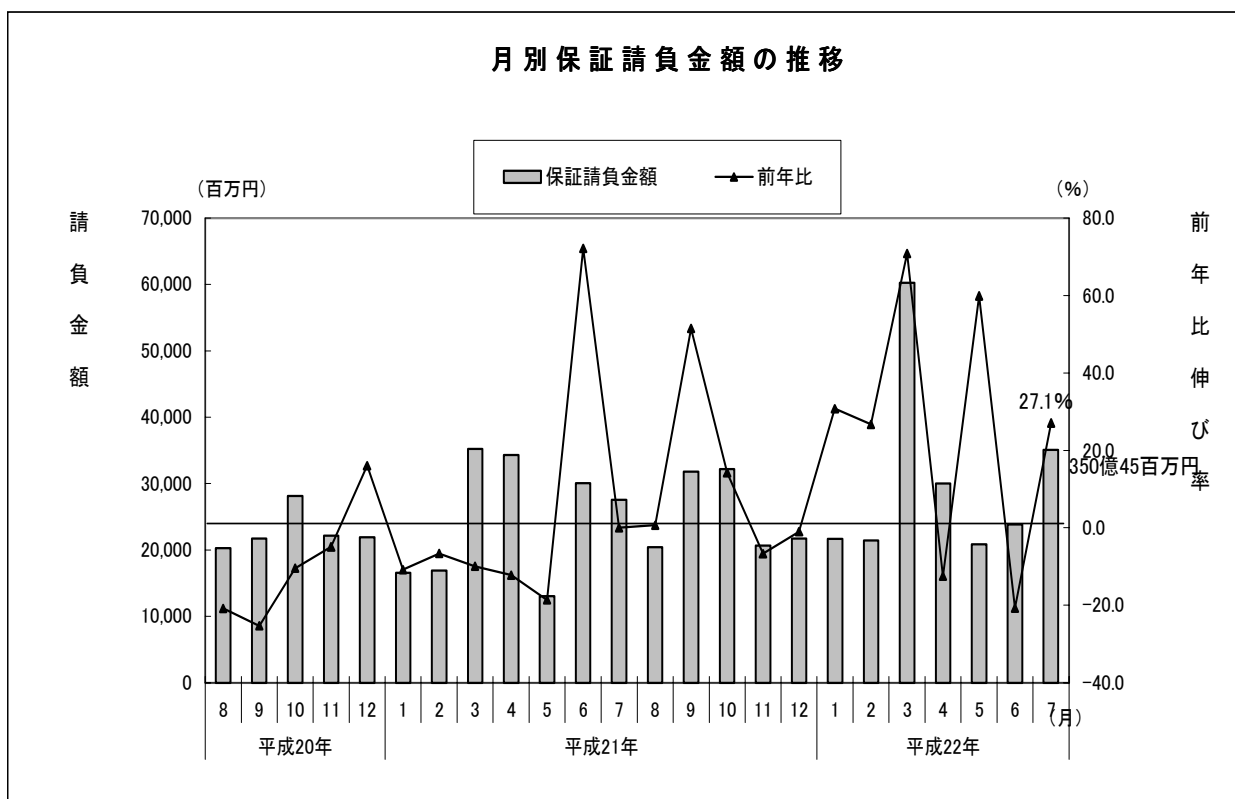
請負金額を平成22年度(22年4月~7月)の累計でみると、1,097億87百万円となり、前年同期比4.5%の増加となった。

7月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	22(45.0)	3,751(7.1)	神戸港六甲アイランド地区航路・泊地等浚渫工事
独立行政法人等	13(18.7)	4,478(318.3)	浜甲子園団地第1期2BL南工区建築
兵庫県	165(11.5)	6,883(55.7)	兵庫県立尼崎西高等学校第2期建築工事
神戸市	49(27.9)	3,609(15.9)	神戸市危機管理センター新築工事
神戸市を除く市町	215(0.5)	13,665(3.4)	姫路市庁舎改修工事
その他の団体	20(17.6)	2,656(148.3)	(仮称)やわらぎの里清和台第 特養新築工事
合計	484(3.8)	35,045(27.1)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成22年6月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,417億円、前年同月比18.1%の増加で、総額ベース6か月連続の増加となった。輸出は重電機器などが減少したものの、船舶、ガラス及び同製品などが増加した。一方輸入は、医薬品などが減少したものの、非鉄金属、有機化合物などが増加した。

輸出は4,295億円(前年同月比19.4%増加)と6か月連続で前年を上回った。

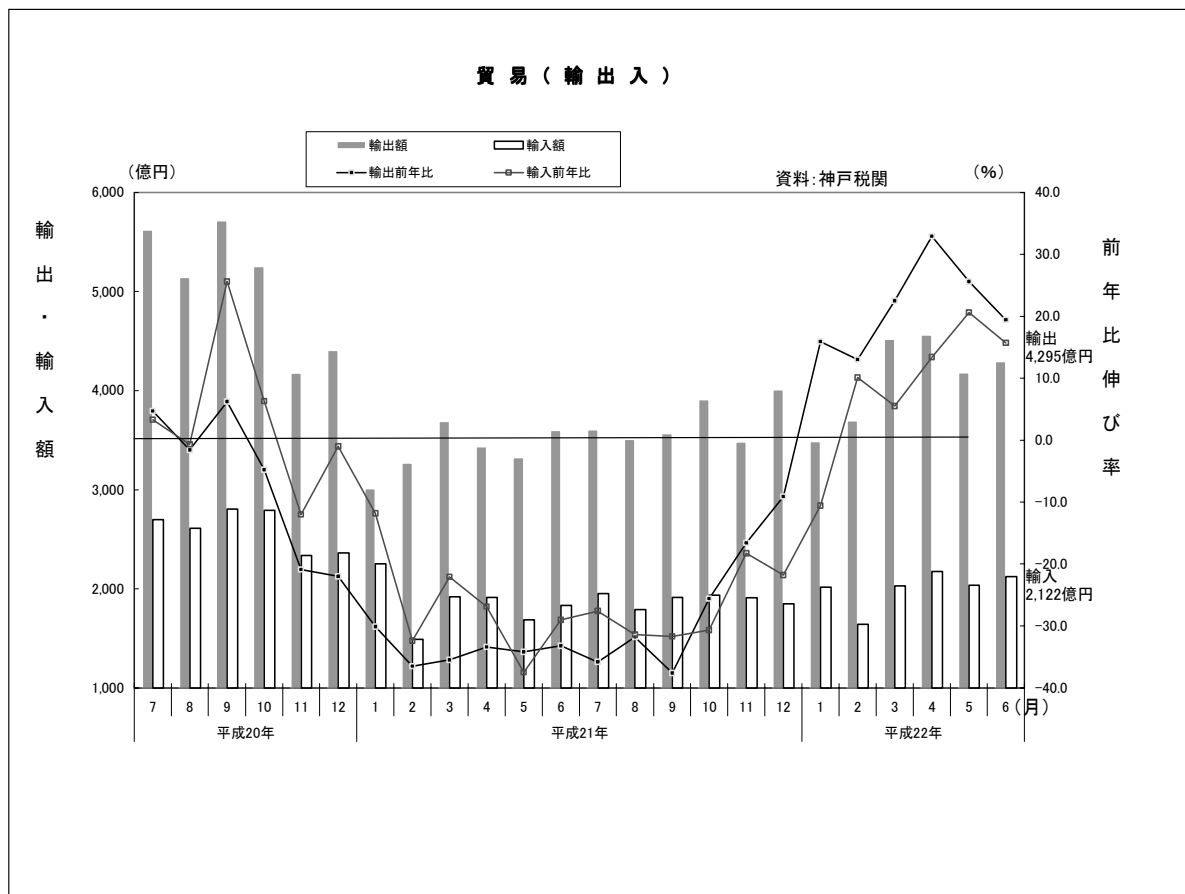
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(同0.4%減、3か月ぶりにマイナス)、原動機(同4.6%減、4か月ぶりにマイナス)が減少したものの、プラスチック(同16.2%増、8か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同53.8%増、6か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同23.5%増、7か月連続プラス)、中国(同14.6%増、7か月連続プラス)、米国(同36.4%増、6か月連続プラス)向けが増加、EU(同8.4%減、5か月ぶりにマイナス)向けが減少となった。

輸入は2,122億円(前年同月比15.7%増加)と5か月連続で前年を上回った。

主要品目では、たばこ(同2.6%減、2か月連続マイナス)が減少したものの、衣類及び同附属品(同10.3%増、2か月連続プラス)、非鉄金属(同2.0倍、5か月連続プラス)、有機化合物(同46.9%増、5か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同13.1%増、5か月連続プラス)、中国(同15.7%増、3か月連続プラス)、米国(同30.7%増、4か月連続プラス)向けが増加、EU(同7.0%減、2か月ぶりにマイナス)向けが減少となった。



【物 価】『消費者物価』

7月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が98.7(平成17年=100)となり、前月比は0.7%下落し、前年同月比は0.8%下落した。生鮮食品を除く総合指数は98.8となり、前月比は0.2%下落し、前年同月比は0.8%下落した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.1となり、前月比は0.2%下落し、前年同月比は0.8%下落した。

前月からの動きを見ると、教養娯楽サービスなどの値上がりにより「教養娯楽」が0.4%、ガス代などの値上がりにより「光熱・水道」が0.4%上昇した。しかしながら、果物などの値下がりにより「食料」が2.2%、衣料などの値下がりにより「被服及び履物」が2.9%下落した結果、総合指数では0.7%下落した。

7月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品 を除く総 合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	98.7	100.6	98.9	102.6	88.7	93.6	98.3	99.0	98.0	95.5	99.9	98.8	97.1
前月比	-0.7	-2.2	0.0	0.4	-0.1	-2.9	-0.3	0.0	0.0	0.4	0.0	-0.2	-0.2
前年同月比	-0.8	0.2	0.2	0.0	-6.0	-2.1	0.1	0.4	-3.9	-0.5	0.5	-0.8	-0.8

(注)平成17年=100

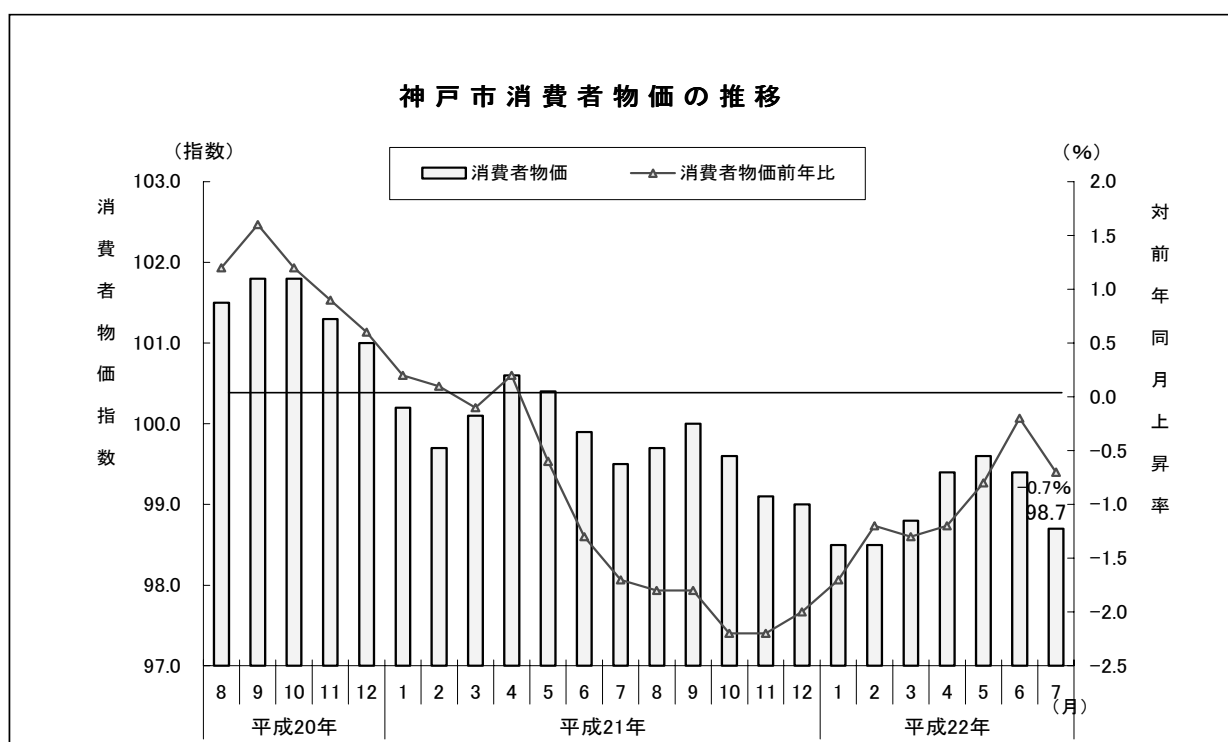
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

教養娯楽サービス (+ 1.4%)・・・外国パック旅行、宿泊料
ガス代 (+ 0.6%)・・・都市ガス代

対前月比値下がりした主な品目

果物 (- 23.5%)・・・さくらんぼ、すいか、メロン
衣料 (- 3.3%)・・・スカート(夏物)、女兒スカート(夏物)



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が8月11日に発表した、企業物価指数(速報)による2010年7月の実績は次のとおり。

7月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	102.7	0.1	0.1
輸 出 物 価	85.4	2.2	4.2
輸 入 物 価	105.4	2.7	4.4

資料：日本銀行調査統計局

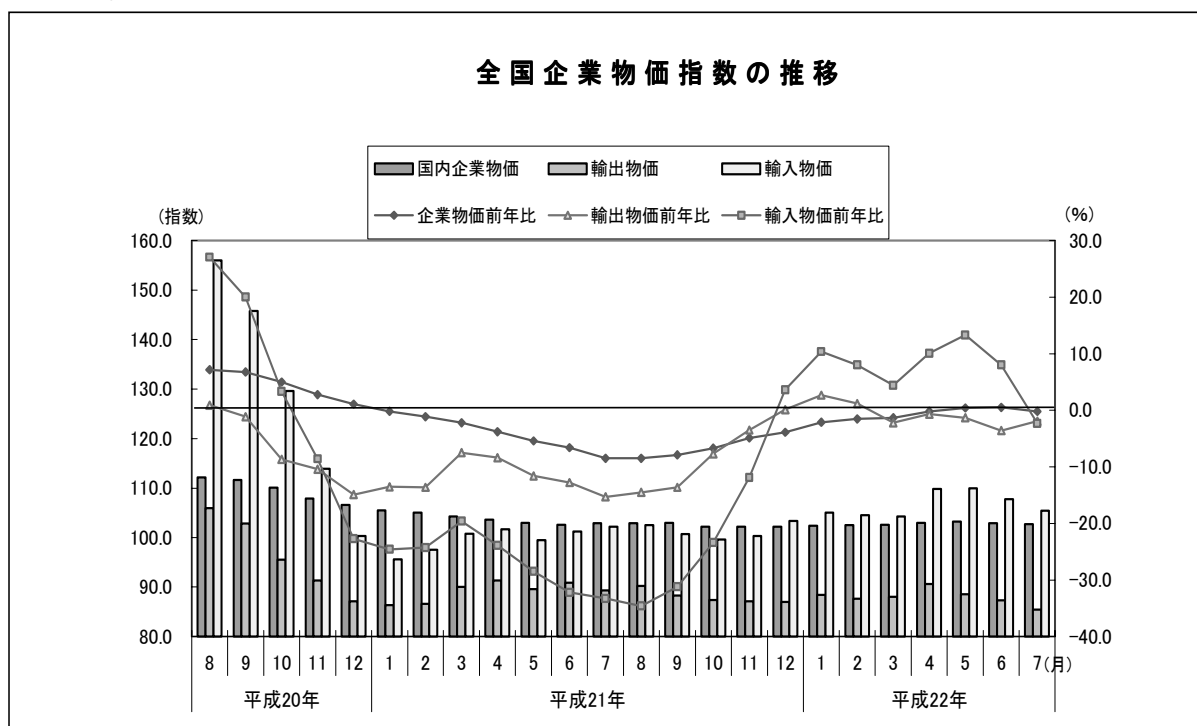
国内企業物価は、石油・石炭製品(前月比-3.1% <ガソリン、C重油など>)、非鉄金属(同-1.5% <アルミニウム合金、金地金など>)、化学製品(同-0.9% <エチレン、プロピレンなど>)等が下落し、全体では前月比-0.1%の下落(前年同月比-0.1%)となった。

前年同月比では米欧の景気減速懸念を背景とする原油安や円高も押し下げ要因となり、輸送用機器や情報通信機器などが値下がりし、3か月ぶりの低下に転じた。

下落が目立ったのは情報通信機器(前年同月比6.7%減)や輸送用機器(同3.0%減)。輸送用機器や一般機器では、需要減速の可能性をにらんで価格を引き下げる動きが見られた。

輸出物価は、化学製品(前月比-2.2% <スチレンモノマー、塩化ビニルモノマーなど>)、輸送用機器(同-2.1% <普通乗用車、普通トラックなど>)、電気、電子機器(同-2.0% <集積回路、光電変換素子など>)等が下落し、円ベースでは前月比-2.2%の下落(前年同月比-4.2%)となった。

輸入物価は、金属・同製品(前月比1.5% <鉄鉱石など>)等が上昇したものの、石油・石炭・天然ガス(前月比-5.1% <原油、液化天然ガスなど>)、化学製品(同-2.8% <汎用プラスチック、カーボンブラックなど>)等が下落し、円ベースでは前月比-2.7%の下落(前年同月比+4.4%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内6月の新規求人数(全数)は、22,081人(前年同月比6.8%増、前月比16.6%増)で、2か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は52,944人(前年同月比7.7%増、前月比3.7%増)で2か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比2.4%増で4か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同9.1%増で2か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同77.1%増で10か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比4.0%増)、製造業(同43.2%増)、情報通信業(同7.1%増)、運輸業、郵便業(同4.0%増)、卸売業、小売業(同6.3%増)、学术研究、専門・技術サービス業(同44.6%増)、宿泊業、飲食サービス業(同6.3%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同4.6%増)、医療、福祉(同2.7%増)、サービス業(同3.3%増)は前年を上回ったが、教育、学習支援業は前年と同水準となった。

(2) 求職状況

6月の新規求職申込件数(全数)は、26,807件(前年同月比7.4%減、前月比2.0%増)で、2か月ぶりに前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は121,226人(前年同月比2.5%減、前月比2.0%減)で22か月ぶりに前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比8.0%減で3か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同5.2%減で4か月ぶりに前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比13.8%減で4か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比1.8%増で4か月連続して、自営・他は同0.5%増で2か月ぶりに、無業者は同10.7%増で13か月連続して前年を上回ったが、事業主都合離職者は同20.9%減で6か月連続して、自己都合離職者は同7.3%減で4か月ぶりに前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、31,379人(前年同月比21.1%減)で、4か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

6月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が0.88倍で前月を上回り、有効求人倍率についても0.50倍でいずれも前月を上回った。

(4) 失業者の状況

6月の全国の完全失業率(季節調整値)は5.3%で前月より0.1ポイント上昇し、完全失業者数(原数値)は344万人(前年同月差4万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は5.9%(前年と同率)で、完全失業者数(原数値)は60万人(前年同月差1万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
22年6月	22,081	1,385	2,630	334	1,548	3,324	124	335	755	1,547	1,050	5,420	2,743
前年同月比	6.8	4.0	43.2	7.1	4.0	6.3	-49.0	8.4	44.6	6.3	4.6	2.7	3.3

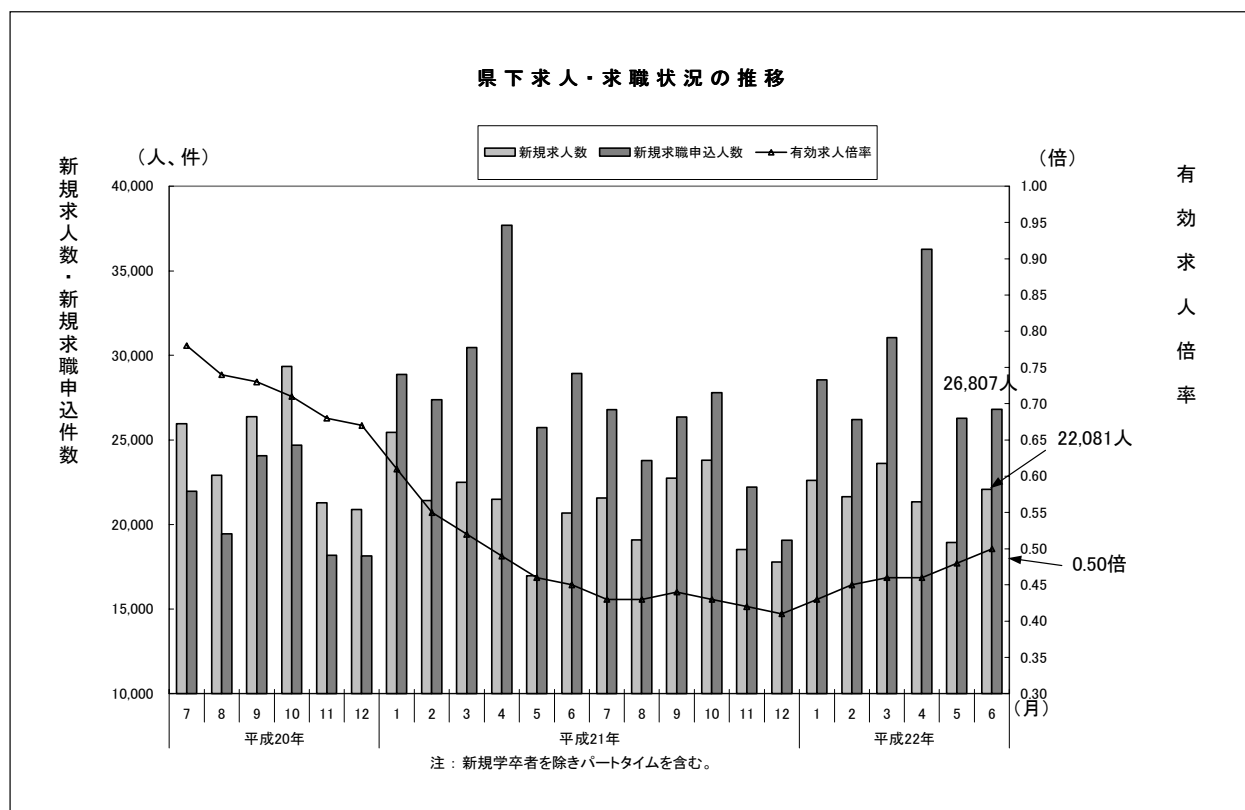
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	09/4-6	09/7-9	09/10-12	10/1-3	10/04	10/05	10/06
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.47	0.43	0.42	0.45	0.46	0.48	0.50
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	22.1	15.7	16.0	2.2	0.7	11.6	6.8
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	14.8	10.2	6.0	5.6	11.7	16.0	12.3
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	1.1	0.5	0.6	0.5	0.9	1.1	1.5
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	4.2	5.4	5.0	0.7	1.5	1.4	0.1

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

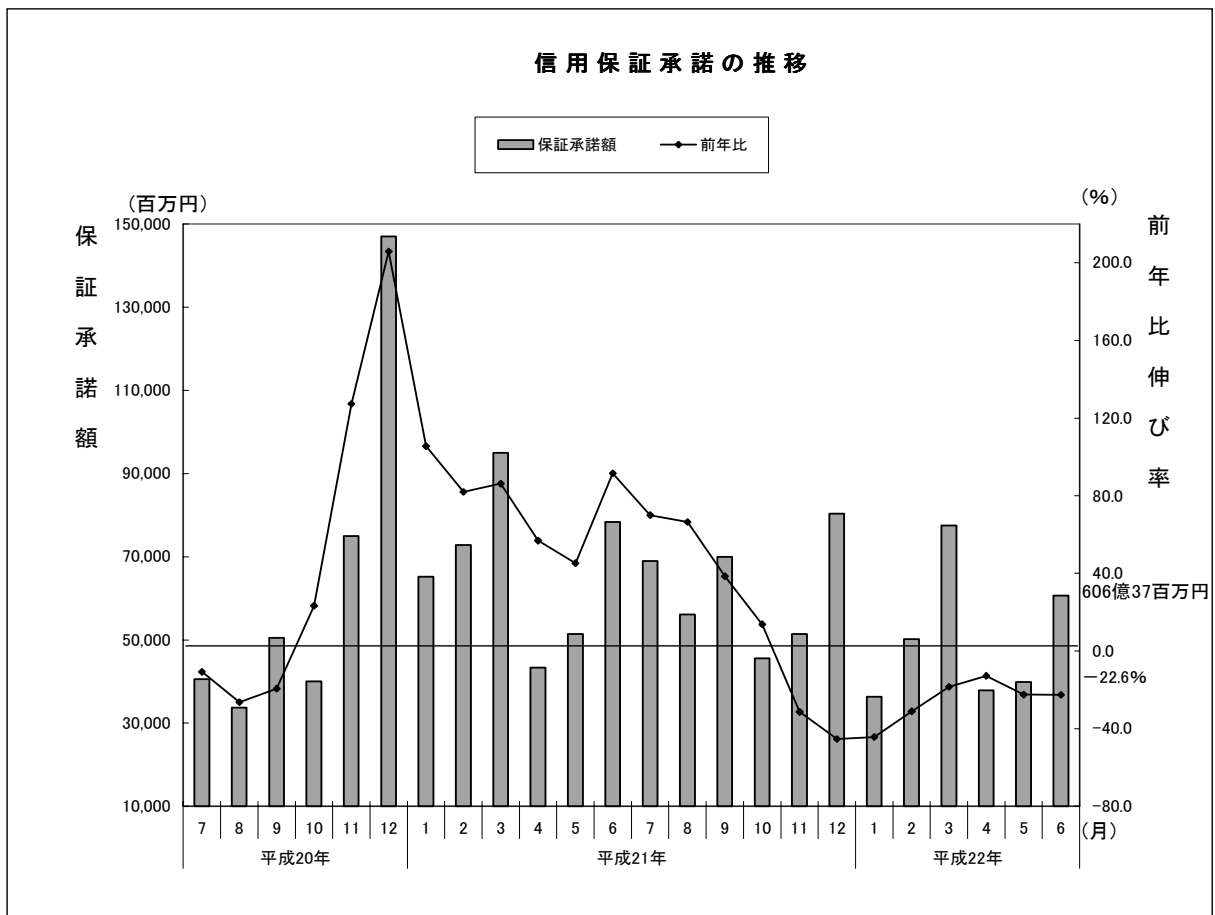
兵庫県信用保証協会による6月の保証承諾実績は、件数で3,353件(前年同月比19.1%減)、金額は606億37百万円(同22.6%減)となり、8か月連続で前年実績を下回った。

平成20年10月末導入の緊急保証制度の承諾が急増していた反動で、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「運送・倉庫業」3,418百万円(前年同月比14.2%減)、「小売業」7,363百万円(同17.6%減)、「卸売業」11,363百万円(同17.9%減)、「建設業」15,806百万円(同19.3%減)、「製造業」12,988百万円(同24.5%減)、「サービス業」6,396百万円(同29.0%減)、「飲食店」1,379百万円(同37.6%減)、「不動産業」1,756百万円(同49.3%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、347件(前年同月比41.4%減)、41億70百万円(同29.5%減)となった。

6月末の保証債務残高は、119,484件(前年同月比1.9%減)、1兆4,737億52百万円(4.1%増)となった。



【金 融】

6月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り(単位:億円、前年同月比増減・%)。

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	136,884	1.1	57,291	1.3
地方銀行	23,273	1.2	18,832	0.1
第二地方銀行	30,516	4.2	19,989	2.2
信用金庫	77,287	1.9	38,398	2.1
その他	15,956	2.4	16,539	0.6
計	283,916	1.6	151,049	1.3

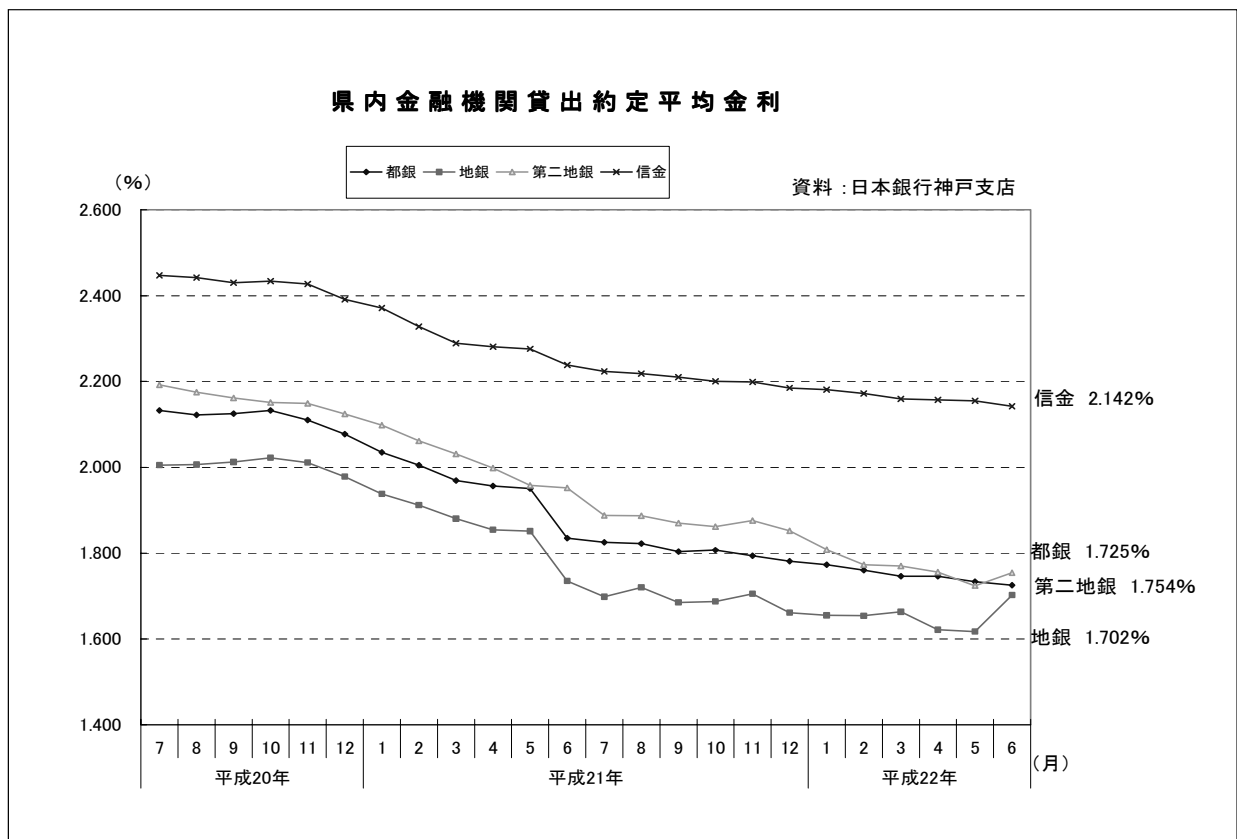
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

6月の預金は、引続き前年を上回って推移しているものの、このところ増勢が幾分鈍化している。

6月の貸出は、前年を下回って推移している。

6月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、大口の低利貸出の減少により、僅かながら上昇した(6月末水準 1.872%、前月比 +0.009%ポイント)。



【倒 産】

県内7月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は55件で前年同月比では同水準、負債総額は81億6百万円で同50.23%の減少となった。倒産件数は前月比18件と大幅に減少したが、前年同月比では同件数となり、前年の月間平均件数62.6件より7.6件の減少であった。負債額1億円未満の小口倒産は40件で全体の72.73%を占めている。

原因別(件数)では、販売不振が43件(全体の78.2%)と前月より14件の大幅減少。2番目は放漫経営3件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等「不況型」倒産は45件と圧倒的に高い割合を占めている。

業種別(件数)では、建設業が18件(全体の32.73%)で2か月連続のトップ、2番目は不動産・サービス他業12件、金属・機械・電気業7件と続いている。

兵庫県下の7月の企業倒産件数は55件で、前月比18件の減少となり、年初1月の46件に次ぐ少ない規模となった。

日本銀行神戸支店が8月4日に発表した「管内金融経済概況」によると、「管内の景気は、厳しさを残しつつも、着実に持ち直している」と先月に上方修正した内容と判断を据え置いた。

倒産件数並びに負債総額共に大幅減となったが、当月のみの傾向で「景気の本格回復が裏付けられた」と判断するのは時期早尚と思われる。年初の2か月は40件台の倒産件数ではあったが、以後、73件を記録した月が2回あり、この7か月間の倒産件数は正に大きく蛇行しており、「景気回復を模索している」というのが現状と見られる。

実際に「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が45件(構成比81.82%)と高い水準にあり、建設業を主体として幅広い産業で当月も倒産が発生、小口の倒産が常態化している事も鑑みると、経営体力を疲弊している小規模・零細企業を中心に引き続き注視していく必要がある。

7月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	3	3	0	10	-7	金属・機械・電気	7	11	-4	6	1
過小資本	1	1	0	3	-2	化学・薬品	0	0	0	0	0
連鎖倒産	3	1	2	3	0	ゴム・皮革・ケミカル	2	2	0	2	0
赤字累積	1	2	-1	3	-2	食品	4	8	-4	10	-6
販売不振	43	57	-14	35	8	建設	18	26	-8	19	-1
売掛金回収難	1	0	1	0	1	不動産・サービス	12	16	-4	8	4
その他	3	9	-6	1	2	運輸・通信他	12	10	2	10	2
合計	55	73	-18	55	0	合計	55	73	-18	55	0

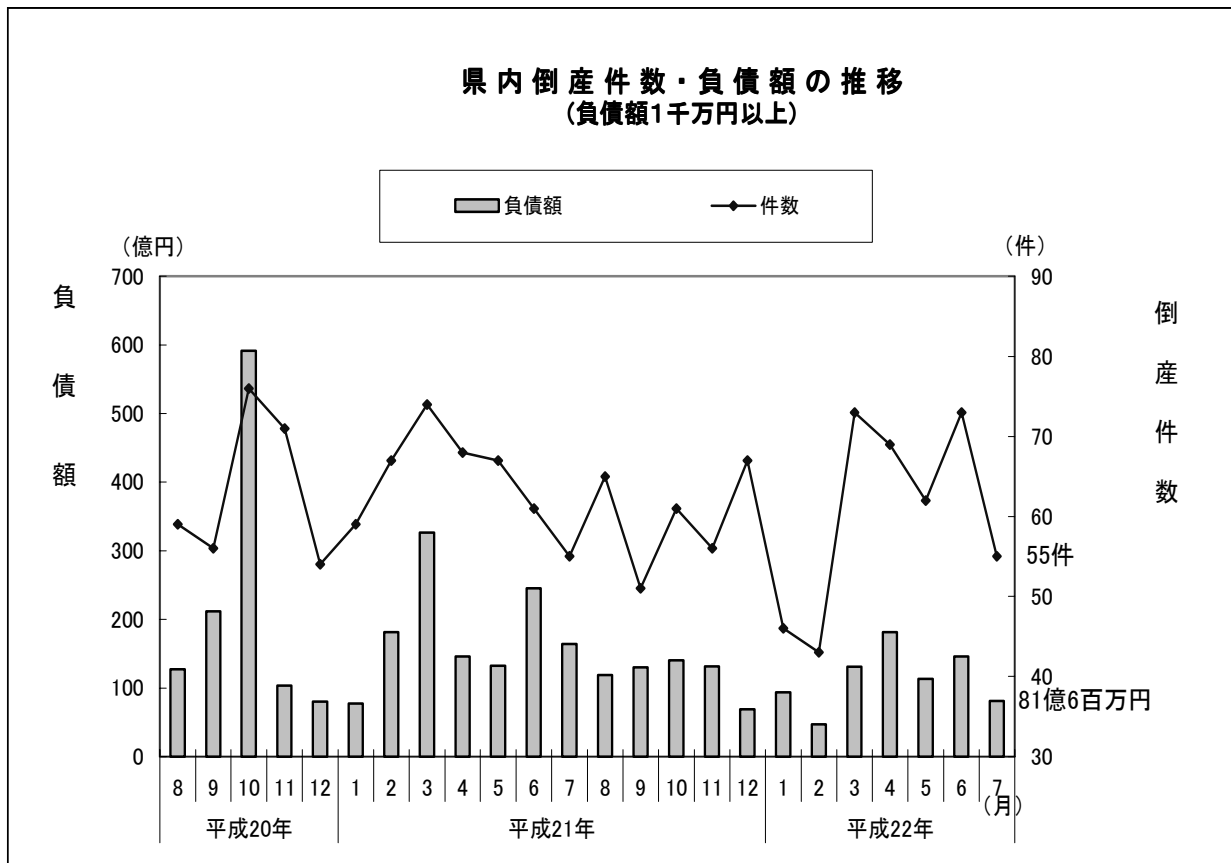
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位：件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
17年 平均	54.1	17.5	15.9	8.5	8.8	1.8	0.8	0.8
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 1月	46	11	17	8	6	2	0	2
2月	43	17	12	4	8	0	1	1
3月	73	24	25	11	6	3	0	4
4月	69	21	28	11	8	0	0	1
5月	62	22	18	14	3	2	1	2
6月	73	26	25	14	4	1	1	2
7月	55	12	21	10	8	1	2	1

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
21年 1月	83.1	-9.4	76.0	-10.0	166	-10.8	1.9	2,015	-31.4	-18.7
2月	78.4	-6.2	68.7	-9.4	169	-6.6	-2.8	2,500	-31.7	-24.9
3月	80.5	2.0	70.6	1.6	352	-9.9	15.3	3,019	-14.5	-20.7
4月	78.7	0.4	74.3	5.2	343	-12.2	20.5	2,991	-21.0	-32.4
5月	79.9	1.4	79.2	5.9	130	-18.6	2.5	2,139	-40.3	-30.8
6月	84.1	5.5	81.0	2.4	301	72.2	12.7	2,582	-38.6	-32.4
7月	81.9	2.5	82.4	1.9	276	0.0	2.5	2,631	-24.1	-32.1
8月	83.4	1.9	84.1	1.8	204	0.7	8.7	2,149	-36.8	-38.3
9月	86.8	3.2	85.1	1.4	318	51.5	22.1	2,502	-19.5	-37.0
10月	88.4	2.1	86.1	0.5	322	14.2	8.3	2,888	-14.5	-27.1
11月	91.1	3.3	88.3	2.6	207	-6.7	0.0	2,873	-3.0	-19.1
12月	90.9	0.9	89.9	2.2	217	-1.0	10.3	3,001	-12.4	-15.7
22年 1月	92.5	1.7	91.9	2.5	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1
2月	91.2	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3
3月	90.9	-2.1	94.0	0.3	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6
5月	r 96.8	2.4	95.9	-0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6
6月	p 98.3	1.5	94.7	-1.5	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6
7月					688	55.7	-8.3			
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
21年 1月	10,082	-21.3	-20.0	213	-10.1	-9.2	3,009	-30.1	2,256	-11.6
2月	13,129	-25.3	-24.4	159	-13.3	-11.4	3,269	-36.5	1,491	-32.4
3月	17,786	-23.5	-24.5	192	-15.7	-12.9	3,689	-35.5	1,923	-22.0
4月	9,162	-21.8	-22.8	180	-8.9	-11.3	3,433	-33.4	1,918	-26.8
5月	9,482	-18.6	-17.4	167	-19.6	-12.7	3,326	-34.2	1,689	-37.4
6月	12,600	-10.3	-12.2	193	-6.9	-8.9	3,599	-33.2	1,834	-29.0
7月	14,538	0.0	-2.8	212	-12.0	-11.8	3,606	-35.8	1,953	-26.6
8月	9,906	1.1	3.2	164	-9.8	-8.9	3,509	-31.8	1,793	-31.3
9月	17,427	10.8	4.2	167	-6.9	-7.8	3,566	-37.6	1,916	-31.7
10月	13,934	10.6	7.8	178	-8.8	-10.6	3,908	-25.6	1,936	-30.6
11月	14,618	26.8	24.7	194	-15.9	-11.7	3,483	-16.6	1,909	-18.2
12月	12,899	29.1	27.3	271	-1.3	-5.1	4,008	-9.1	1,850	-21.8
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,175	13.4
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.7	4,179	2.6	2,047	21.1
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	p 4,295	p 19.4	p 2,122	p 15.7
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-7.4				
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (17年=100)			
	兵庫県	全国	全産業	前年比	指数	前年比	神戸市		全国	
							指数	前年比	指数	前年比
	(季調済)	(季調済)	(千人)	%	(12年=100)	%	指数	%	指数	%
21年 1月	0.61	0.65	1,003	5.2	99.3	-3.2	100.2	0.2	100.7	0.0
2月	0.55	0.58	1,003	5.6	99.7	-5.2	99.7	0.1	100.4	-0.1
3月	0.52	0.53	996	4.8	98.0	-6.1	100.1	-0.1	100.7	-0.3
4月	0.49	0.48	1,009	4.3	98.3	-5.5	100.6	0.2	100.8	-0.1
5月	0.46	0.46	1,014	4.8	96.8	-4.9	100.4	-0.6	100.6	-1.1
6月	0.46	0.45	1,012	4.8	97.4	-4.9	99.9	-1.3	100.4	-1.8
7月	0.43	0.43	1,008	4.3	97.5	-5.0	99.5	-1.7	100.1	-0.3
8月	0.43	0.42	1,007	4.2	97.1	-4.1	99.7	-1.8	100.4	-2.2
9月	0.44	0.43	1,007	4.2	97.8	-4.1	100.0	-1.8	100.4	-2.2
10月	0.43	0.43	1,003	4.9	96.9	-4.9	99.6	-2.2	100.0	-2.5
11月	0.42	0.43	1,003	5.0	97.7	-3.1	99.1	-2.2	99.8	-1.9
12月	0.41	0.43	1,005	5.0	97.3	-3.9	99.0	-2.0	99.6	-1.7
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	99.4	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	99.3	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	99.8	-1.3	99.6	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	99.6	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.5	-0.9	99.7	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.6	-0.3	99.7	-0.7
7月							98.7	-0.8		
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課			兵庫県統計課		総務省		

ストック(年%)

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国 指数	前年比	金額 (各期末)	前年比	全国銀行 (年%)	件数 (件)	金額 (億円)	地域別倒産件数		
								神戸	阪神	播磨他
		%	(億円)	%		(件)	(億円)	(件)	(件)	(件)
21年 1月	105.5	-0.2	152,735	-1.0	1.824	59	78	18	18	23
2月	105.0	-1.1	152,526	-0.8	1.795	67	181	20	26	21
3月	104.3	-2.2	155,403	-1.8	1.776	74	326	29	16	29
4月	103.6	-3.8	153,829	-0.8	1.756	68	146	28	16	24
5月	103.0	-5.4	154,526	-1.4	1.746	67	132	21	16	30
6月	102.6	-6.6	153,000	-1.5	1.703	61	245	18	13	30
7月	102.9	-8.5	153,523	-1.0	1.697	55	164	13	15	27
8月	102.9	-8.5	152,439	0.1	1.694	65	119	27	21	17
9月	103.0	-7.9	153,641	2.3	1.680	51	130	18	21	12
10月	102.2	-6.7	153,086	2.1	1.680	61	140	22	15	24
11月	102.2	-4.9	152,173	0.8	1.674	56	131	17	21	18
12月	102.2	-3.9	153,743	0.2	1.655	67	69	28	24	15
22年 1月	102.4	-2.1	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.5	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	r 103.2	r 0.4	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	p 102.9	p 0.5	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	p 102.7	p -0.1				55	81	12	21	22
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

* p は速報値 r は確報値